

◆ 活動予定 ◆

W-BRIDGE プロジェクト
「地域連携で生み出すいばらきエコ・ネットワーク
によるまちづくり
最終報告セミナー

テーマ：1年間の取組みの紹介と地域連携を活用した実践
経験の共有化

日時：2010年6月28日(月) 15:00～17:00

場所：茨城大学水戸キャンパス
環境リサーチラボラトリー棟 1F・遠隔講義室

＜プログラム＞

- 15:00～15:15 あいさつ・趣旨説明 田村誠(ICAS 准教授)
- 15:15～16:00 研究・活動報告
泊和太(城里町商工会)、島田敏(筑西市商工会)、長谷川良二(ICAS 研究員)
- 16:00～16:10 休憩
- 16:10～16:55 総合討論
- 16:55～17:00 閉会



お問い合わせ ICAS 本部
TEL/FAX 029-228-8787,
E-mail icas@mx.ibaraki.ac.jp

◆ 「サステナビリティ学入門」開講中！ ◆

今年で4回目となる学部生向け集中講義「サステナビリティ学入門」が開講しました。茨大生122名に加え、単位互換制度による高専生(茨城高専、福島高専)14名、公開講座4名が受講しています。

この講義は1日5コマの授業×3日間で構成されていますが、各講義日の最後の時間にパネルディスカッションが設けられていることが大きな特徴です。まず1～4限目で各専門分野の教員が自身の立場から見たサステナビリティ学の課題や可能性について講義をしたのちに、5限目には予め配布した質問用紙を回収し学生の質問・意見を踏まえた上で、当日の教員全員によるパネルディスカッションを行います。

パネルディスカッションでは、教員と学生、あるいは異分野間の垣根を越えてサステナビリティ学について熱く討論します。サステナビリティ学の創成過程に参加してみませんか。



2010年度 ICAS カレンダー

4月	新年度スタート 4/12 第1回 ICAS セミナー 4/19 第2回 ICAS セミナー	10月	3者連携シンポジウム(三の丸ホテル) ベトナム国家大学・集中講義(ベトナム) 10/30 第1回「サステナビリティ学最前線」(大学院)
5月	5/10 第3回 ICAS セミナー 5/24 第4回 ICAS セミナー 5/28 ICAS キック・オフ・ミーティング	11月	11/6 第2回「サステナビリティ学最前線」(大学院) 11/13 第3回「サステナビリティ学最前線」(大学院) ICAS 教育シンポジウム(ELIAS)
6月	6/7 第5回 ICAS セミナー 6/12 第1回「サステナビリティ学入門」(学部) 6/21 第6回 ICAS セミナー 6/23-25 ICSS-Rome(ローマ) 6/26 第2回「サステナビリティ学入門」(学部) 6/28 W-BRIDGE 最終報告セミナー 6/29-7/1 オーストラリア適応会議	12月	12/6 第2部門国際シンポジウム UNU アジア適応教育シンポジウム ICSS-Asia(ハノイ) 第1部門ワークショップ
7月	7/5 第7回 ICAS セミナー 7/10 第3回「サステナビリティ学入門」(学部) 7/20 第8回 ICAS セミナー 7/23 グリーン・イノベーション・シンポジウム ベトナム国家大学・集中講義(ベトナム)	1月	
8月	8/22-28 Cities at Risk ワークショップ(バンコク) 8/21-29 国際実践教育演習(ブーケット)	2月	
9月	9/13-15 国内教育実践演習(大洗)	3月	第4回学生サステナ・フォーラム

*網掛けは ICAS が主催する企画です ICAS の予定に関するお問い合わせは ICAS 本部まで icas@mx.ibaraki.ac.jp

◆ 第二期 ICAS キック・オフ・ミーティングの開催 ◆

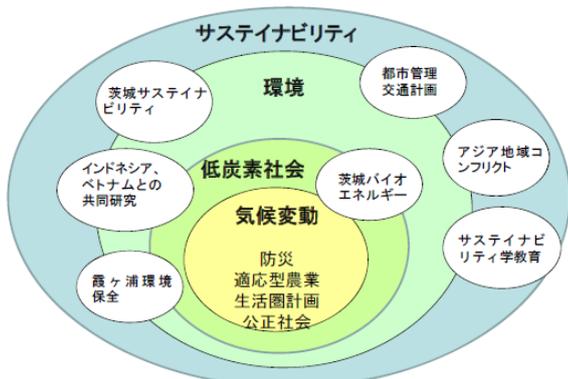
ICAS は 2006 年の発足から約 4 年の育成期間(第一期)が終了し、2010 年 4 月より第二期を迎え新たな歩みを踏み出しました。

2010 年 5 月 28 日に開催された第二期 ICAS キック・オフ・ミーティングでは、ICAS 第二期中期目標・中期計画(平成 22~27 年度)が報告された他、これまでの成果と概要および今後の新たな取組みなどについて討論が行われました。今年度から新たに ICAS メンバーとなった先生方からは、早速、ICAS に対する鋭い質問や意見が飛び出し、これまでの ICAS 教員と活発な議論が繰り広げられたことが印象的でした。

ミーティング終了後には懇親会も行われ、新メンバーとの結束力を強め、ICAS のさらなる発展を目指すことが確認されました。



第二期 ICAS では、第 4 部門「新しい安全・安心社会のあり方」の新設や「独自研究」公募制度の導入などにより、サステナビリティ学研究に核と広がりをもたせることで、より一層充実させます。また教育面では、国連大学、インドネシアやベトナムの大学とのダブル・ディグリー・プログラムを開始させるなど、国際的な活動を推進していきます。これ以外にも、研究、教育、社会活動、アウトリーチなどのあらゆる側面で活動を拡大・充実させることで、サステナビリティ学の全国的・国際的な研究教育拠点として成長していくことを目指します。



核と広がりのあるサステナビリティ学の研究体系

ICAS on MEDIA

ICAS が約 2 年に渡り執筆を続けてきた、茨城新聞での連載記事「茨城大学発・持続可能な世界へ」は、茨城新聞社の「いばらき BOOKS」シリーズとして書籍化されることが計画されています。

◆ メンバー紹介 ◆



お名前 (よみがな)
島田 敏
(しまだ さとる)
地域コーディネーター
みずがめ座・A 型

はじめまして、6 月から地域サステナ・コーディネーターとして ICAS スタッフに加わりました島田敏と申します。これからよろしくお願ひします。

地元商工会(筑西市)において、地域でできる地球環境問題の解決を実践するエコの木プロジェクトという取り組みで、ICAS の主催するいばらき地域サステナワークショップに参加させて頂き、WS の運営委員、サステナビリティ学大学院教育プログラムの外部プログラム開発実証委員、W-BRIDGE プロジェクトによる共同プロジェクトの実施などで茨城大学及び ICAS の皆様には色々とお世話になってきました。

今回、地域コーディネーターとして ICAS に加わることができ、より多くの皆さんと交流が持てるのではないかと楽しみにしています。非常勤ですが、これから、一緒に活動する仲間としてよろしくお願ひします。

◆ 本の紹介 ◆

「サステナビリティとエコ・フィロソフィ
—西洋と東洋の対話から—

竹村牧男、中川光弘 編
ノンブル社 (2010 年)
ISBN978-4-903470-45-0



今回は、ICAS メンバーである中川光弘先生、木村競先生、上柿崇英さんも執筆に携わったエコ・フィロソフィに関する書籍を紹介いたします。

本書は、サステナビリティと哲学的なエコロジー論であるエコ・フィロソフィをテーマとした新しい論文集です。ICAS と東洋大学 TIEPh(「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ)は、2006 年より国際セミナー「持続可能な発展と自然・人間 —西洋と東洋の対話から新しいエコ・フィロソフィを求めて」を共催してきましたが、本書はそのセミナーに参加した講演者によって執筆されました。社会や倫理といった観点にとどまらず、東洋思想(仏教思想)や心理学、デザインといった多彩な視点が織り込まれたユニークなものとなっております。

Editor's Note

第 2 期 ICAS が始まり約 3 カ月がすぎ、あっという間に梅雨の季節を迎えました。少しでも多くの方に ICAS News を読んでいただきたいと思いますので、ICAS News に関するご感想・ご意見など、どんどんお寄せ下さい。(R. H.)